

第 17 回（2018 年度）日本歯科医学教育学会優秀論文賞 選考経過および結果

日本歯科医学教育学会優秀論文賞選考委員会

日本歯科医学教育学会（以下「本会」という。）第 17 回（2018 年度）優秀論文賞選考委員会を、2019 年 5 月 21 日に日本歯科大学において開催した。

日本歯科医学教育学会優秀論文賞（以下「優秀論文賞」という）は国内学術誌部門に編集委員会からの推薦が 2 件、応募が 1 件、海外学術誌部門に応募が 2 件あった。

本会表彰制度規程（以下「規程」という。）及び本会表彰制度規程細則（以下「細則」という。）に鑑み、申請者から提出された応募書類に基づき、下記の基準により受賞候補者の選考を行ったので報告する。

優秀論文賞

申請論文に関し、その論理性（細則第 2 条第 2 項第 1 号）、科学性（細則第 2 条第 2 項第 1 号）、独創性（細則第 2 条第 2 項第 2 号）、発展性（細則第 2 条第 2 項第 2 号）並びに総合的評価の各項目について、5 名の委員の採点結果を集計し、評価を行った。

上記の基準に従い、委員会において慎重審議を行った結果、下記の者を日本歯科医学教育学会第 17 回（2018 年度）優秀論文賞の受賞候補者として推薦することが決定された。

<国内学術誌部門>

受賞候補者：大沢聖子（日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座）

論文：「患者付き添い実習における学生自身による同意取得の教育効果」

大沢聖子, 多田充裕, 内田貴之, 青木伸一郎, 岡本康裕, 梶本真澄, 大山篤,
伊藤孝訓

日本歯科医学教育学会雑誌 第 34 巻 2 号 33 頁～42 頁

(2018 年 8 月発行)

<海外学術誌部門>

受賞候補者：大林泰二（広島大学病院歯系総合診療科口腔総合診療科）

論文：「Dental trainees reflect more critically on negative experiences:

portfolio analysis using a pragmatic approach and a rubric in Japan」

Taiji Obayasi, Takayuki Oto, Yukiko Nagatani, Norihiro Taguchi,
Hiroyuki Kawaguchi, Tetsuji Ogawa

BMC Medical Education 第 18 巻 292 号 18 : 292

(2018 年 12 月発行)

上記受賞候補者については、2019 年 5 月 21 日に日本歯科大学で開催された第 1 期第 2 回理事会にて承認の後、7 月 19 日にグラナダスイート福岡にて表彰式が執り行われ、表彰楯が授与された。